2023年５月　Ｔさん

「認茶屋、介カフェに出会えて」

父が認知症？えー！と、思いながら診察を受けていくうちに「認茶屋」の参加の話があり、 コロナ前から認茶屋に参加させていただいていました。

猛威を振るった見えない敵で現地開催が中止。以前のように皆さんの状況がわからず、更に私は母が父を直接介護している遠隔介護。コロナ禍で見に行けない、見えない介護の孤独感でした。

「介カフェ」でZoomでの開催の話があり、参加させていただきました。介カフェの皆様と事務局の方たちとZoomであれ顔を見て現状や情報の交換ができること、一人でどうやったらよいのだろう？と悶々としていても、介カフェなら色々な知恵を聞けたり、一緒に考えたりできる、こんなに大切なことなんだと改めて痛感いたしました。

何を話しているのだろうか？たわいもない世間話のこともあります。が、ここに通院している患者の家族との絆を深めるためにも、介護や私生活で息詰まらないような、この会は重要だと思いました。